



2017-2018年度

■会長 愛宕 彰

■幹事 寺田 祐子

例会日: 金曜日 12:30-13:30

例会場: スカイホテル魚津

第3093回例会

- 点鐘・握手
- ロータリーソング「我等の生業」
- ゲスト並びにビジターの紹介 なし
- 誕生祝い 26日: 杉野君



あと一月で昭和という、大正15年の11月26日に生まれました。大正天皇は12月25日に崩御されましたので昭和元年は1週間程の大変短い期間です。本日の卓話でも激動の昭和のはじめについてお話いたします。



■会長挨拶 愛宕会長

いよいよ冬到来で大変寒くなり、雪が積もるのも間もなくだと思います。ロータリーの方も色々なことが重なり、本日も諮問委員会で細則の件について話し合いました。次年度からのスタートに向け大変な作業であり、野澤委員長はじめ委員の皆さまにはご苦勞をかけております。ガバナー選出の件も詰めている最中であり、皆さまのご協力をどうぞよろしくお願い致します。また、新入会員候補の方が何人か出てきており、念願の会員拡大につながればと思っております。



■幹事報告 寺田幹事

■12月例会案内【疾病予防と治療月間】

12月 1日(金): 上期活動報告(各委員長)

12月 8日(金): 会員卓話 青山君

12月15日(金): 年次総会

12月20日(水): 年忘れ家族例会(18:00点鐘)

[スカイホテル]

[スカイホテル]

[スカイホテル]

[グランミラージュ]

★12月SAA補助: 川岸君・広瀬君 よろしく申し上げます。

■出席報告 平崎委員長

本日の出席	欠席者	3091回メークアップ	3091回出席率
24名	6名	5名	82.14%(←64.28%)



■ニコボックス報告 なし

■委員会報告

★親睦委員会 茶谷委員長

・12/20(水)年忘れ家族例会のご案内

★クラブ定款・細則改定委員会 野澤委員長

・細則改定の概要報告



本日の卓話

『 幼少期から現在に至るまで見てきた日本の工業 』

杉野 君

私は1926年生まれで、当時の日本の経済と当時を比較しますと、何もかも逆転というか反対になっております。関東大震災があり、日本の経済は大打撃を受け非常に悪くなっていました。有名な神戸の鈴木商店がつぶれたり、銀行の取り付け騒ぎが起きました。

当時の日本の貿易は農産物に頼っており、蚕からとれる絹織物を輸出し、そのお金で外国から高い機械や材料を輸入していました。さらに大きな軍備をしており、おそらく国民総生産の半分以上を使っていたのではないかと思います。

そうした時に生まれ、間もなく満州事変、支那事変と戦争がはじまりました。私の住んでいた地域もとても貧しく、ほとんどの人が長屋に住んでいましたが、隣近所で味噌、醤油を借り合うなど、今より団結心が強かったと思います。当時大阪市が失業救済のための産業道路づくりをしており、日雇いの方が近所にたくさん住んでおられました。彼らの日給は1日1円から1円2、30銭で、今の貨幣価値にすると物によっては1万倍ぐらいだと思います。また、今は最低賃金が定められていますが、当時は最高賃金が決められており、大学卒の月給が75円、専門学校が70円、事務が60円、商業学校が45円、中学校が42円、高等女学校が33円、高等小学校が24円でした。ただ、終戦間際で人がなかなか来ないという時代でしたので、賃金よりも高い手当がついていました。私の月給は45円でしたが、通期手当や暖房手当など色々な手当がつき、総額で100円を超えていたと思います。

私は子供の時から飛行機が好きで、兄が作った模型飛行機を飛ばしていました。父は飛行機に反対でしたが、いつ志願するかわからないということで、私を航空工業学校に入れ、卒業後、大日本航空(現在の日本航空)に入社しました。羽田での新入社員教育を受け、福岡へ配属となり、その後大阪に転勤になりました。その折、海軍が整備兵の募集を行っており、何気なく応募したら合格しました。もう二十歳になっていて陸海軍のいずれかに召集されるのは時間の問題で、また大阪は空襲で焼け野原になっていました。5/15に列車に乗せられ横浜に連れて行かれ、厚木の海軍航空隊に入隊しました。厳しい訓練でしたが、ちょうど100日で終戦になりました。マッカーサーが厚木に着陸したことから、私たち厚木にいた兵隊は一番早く復員しました。8/15の終戦の日は狭い防空壕の中で、正装である作業服を着て天皇陛下のお話を聞きました。そのうちに厚木飛行場の方から火の手が上がり、書類を焼く火が天を焦がすようでした。

